

平泉文化セミナー第 72・73 回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回、平泉文化セミナー第 72・73 回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

■第 72 回 (11:00~12:30)

清原氏の勢力基盤と形成過程

横手市教育委員会 島田祐悦 氏

要 旨：

清原氏は、平安時代後期に出羽国山北三郡の他、秋田・河辺二郡にも勢力基盤を確保していたとされています。この一族がどのように形成されていったのか、考古学視点から検討していきます。

■第 73 回 (13:30~15:00)

地方政治拠点としての多賀城

宮城県教育委員会 古川一明 氏

要 旨：

平成 27 年から、陸奥国府多賀城跡南方の山王・市川橋遺跡のほぼ全域を対象とした発掘調査が実施され、城下の構成が明らかになりました。出土した木簡などから、城下には陸奥国内外の物資が集積し、郡司子弟らからなる下級役人が行政・軍事・宗教等様々な役割を担って活動した形跡が読み取れました。これらの成果をもとに政治拠点として機能した国府多賀城の姿を概観してみます。

令和 5 年 7 月 1 日 (土)

11:00~15:00

岩手大学教育学部 1 号館

2 階 E23 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※第 72 回又は第 73 回のいずれかのみ参加することもできます。

※Zoom 参加を希望されるかたは、6 月 29 日 (木) までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。(ただし、視聴のみとなります。)

【連絡先】 岩手大学平泉文化研究センター事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目 18-33

Fax 019-621-6529
E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp